

# 令和元年度 大糸線活性化協議会 総会 会議録

日	令和元年 5 月 31 日	時間	14:00～14:35	場所	ヒスイ王国館 2 階 明星
件名	議案第 1 号 平成 30 年度事業報告 議案第 2 号 平成 30 年度収入支出決算 議案第 3 号 令和元年度事業計画 議案第 4 号 令和元年度収入支出予算				
出席者 (敬称略)	1 出席者 出席者名簿のとおり 2 事務局 産業部：見邊部長 建設課：五十嵐課長、林補佐、田中係長、岡野主査、金子主査、宮下主事 商工観光課：杉野補佐、石崎主査				
<b>会議要旨</b> 1 開会 (14:00)  2 あいさつ (会長) 米田糸魚川市長 (鉄道事業者) 前田金沢支社長 (JR西日本)  3 議事 米田市長が議長として進行する。 ■議案第 1 号・議案第 2 号 【事務局】議案第 1 号・議案第 2 号について説明 議案第 1 号 平成 30 年度事業報告について、概要を説明する。 平成 31 年 2 月 7 日に、ヒスイ王国館にて本協議会の設立総会を開催し、規約、取組方針、平成 30 年度事業計画、予算等の承認をいただいた。 3 月 12 日に、糸魚川市役所にて第 1 回幹事会を開催し、JR 金沢駅での JR 大糸線・観光 PR イベントについてなど協議した。 3 月 23 日に、JR 金沢駅において JR 大糸線・観光 PR イベントを開催し、約 3,000 人の方から来場いただいた。 議案第 2 号 平成 30 年度収入支出決算について、決算額のみ説明する。 収入の部では、1 の負担金は、150 万円であり、内訳については備考欄のとおりである。 2 繰越金、3 雑収入の収入はない。以上、収入合計は、150 万円となっている。 支出の部では、1 の会議費は、39,948 円であり、設立総会開催のための経費である。 2 の事務費は、6,004 円であり、会長印などの作成費である。 3 の事業費は、98 万 1,502 円であり、協議会のロゴ及び法被の制作に 17 万 4,744 円、英語版の大糸線チラシの制作に 88,344 円、パンフレット協賛に 40 万 1,728 円、3 月 23 日の金沢駅イベントに 31 万 6,686 円となっている。 以上、支出合計は、102 万 7,454 円となっている。 収入金額 150 万円から支出金額 102 万 7,454 円を差し引いた 47 万 2,546 円については、翌年度へ繰り越しとする。					

【監事】 会計監査について報告

【質疑応答】 なし

議案第 1 号・議案第 2 号は承認された。

■議案第 3 号・議案第 4 号

【事務局】 議案第 3 号・議案第 4 号について説明

第 3 号議案 令和元年度事業計画について説明する。

事業計画については、設立総会の際に承認いただいた「取組方針」に基づき、昨年度、糸魚川市が委託して実施した J R 大糸線利用者アンケート調査の結果も踏まえ、これまで幹事会などで検討してきた。今年度から本格的に事業に取り組むこととなるが、効果的かつ段階的発展を目指し、鉄道事業者との協力、関係自治体との連携体制を生かし、大糸線乗車人数の増加につながるような事業を展開していきたいと考えている。

「1 会議の開催」については、協議会の規約にある総会と幹事会のほか、必要に応じて担当者会議も開催する。

「2 生活利用の促進」では、「(1) 潜在利用者への働き掛け、新規利用者の開拓」として、沿線住民への大糸線利用促進の情報発信、J R 大糸線の糸魚川駅から南小谷駅間の定期券購入費の一部助成を行う。

「3 観光利用の強化」では、「(1) 沿線の観光魅力や集客力の創出と向上」として、今年の 10 月から 12 月に開催される「新潟県・庄内エリアdestinationキャンペーン」と連携した情報発信、destinationキャンペーン期間中の交流人口増加に対応するため、糸魚川～白馬間に大糸線ダイヤを補完する増便バスを運行する。「(2) 沿線の観光魅力の情報発信」として、大糸線の P R アイテムの製作、ホームページや facebook などの S N S を利用した情報発信を行う。「(3) Hakuba Valley と連携した観光振興」として、旅行会社から大糸線の乗車が含まれるツアーの企画・広告宣伝、観光部門とも連携した観光キャンペーンを行う。「(4) 訪日外国人の誘客促進や鉄道ファンの取り込み」として、アンケート調査で回答が多かった「車窓からの景色」や「北アルプスの魅力」という大糸線の魅力を意識したフォトコンテスト、北アルプス日本海広域観光連携会議と共催のスタンプラリー、白馬エリアの外国人宿泊者などへ大糸線無料券配布、シーフードシャトルバスとの連携による訪日外国人の誘客促進の取組を行う。「(5) 車両自体の観光魅力や輸送サービスの創出と向上」として、フォトコンテスト入賞作品などによる車内装飾、鉄道ファン向けや子ども向けなどの企画列車、北アルプス日本海広域観光連携会議と連携し、サイクリストが列車内に自転車を持ち込む際に使用する輪行バッグ貸出しの推進を行う。企画列車については、アンケート調査で回答が多かった「景色の良い場所での撮影列車」や「郷土料理が楽しめるイベント列車」などの意見を参考にしながら、鉄道事業者や関係団体と調整して具体的な計画を検討していく。

「4 地域連携・協働」では、「(1) 沿線住民のイベント利用促進」「(2) 小中学校等の行事利用促進」「(3) 利用促進団体の育成」として、大糸線乗車を条件としたイベントへの助成、大糸線沿線で花の植栽を行う「花いっぱい事業」を行う。

「5 その他」では、「事業計画の確認・振り返り」として、北陸新幹線開業後の平均通過人員などを目安に、今後、幹事会などで目標数値を検討し、年度末を目途に、乗降調査等により事業実施後の状況確認とその振り返り、及び、既存データの検証を行いたいと考えている。

【質疑応答】なし

議案第3号・議案第4号は承認された。

4 その他

※なし

5 閉会 (14:35)

以 上